

一般質問



△森田議員

町道交差点除雪は一方しか行われていないため、もう一方の車両通行ができないなど、早朝勤務の方は大変苦労している。国道、道道は交差点を小型ショベル等で除雪している。町道交差点も小型シ

**問 高齢者住宅前の除雪も**

**答 仕組み作りを進めたい**

ヨベル等で通行に支障のないよう対策を取るべきではないのか。

次に町長は施政方針で高齢者の玄関前除雪について述べている。昨年の大雪の際、町職員等で高齢者宅を除雪した。その際高齢者の住宅を把握していないことから、取り残しもあったと聞いている。

高齢者の玄関前除雪は、新たな高齢者福祉事業として考えるべきと思うが。町長の考えを聞きたい。

△長屋町長

児童生徒の通園通学路、バス路線を優先して順次除雪をしている。交差点の除雪は一時的に堆積する場合は、すぐに解消するように努めている。

次に高齢者の玄関前の除雪対策は、公約の中で言ったように何とか解消を図りたい。今、本町の高齢者住



高齢者住宅前の除雪

宅の除雪は、一つは在宅支援事業として社会福祉協議会に除雪サービスを委託している。しかし除雪対策が万全とは考えていない。高齢者が安心して住み続けられる町づくりの一つとして、雪かきサービスを組み合わせて高齢者の暮らしを応援していく。

具体的には  
1. 市街地を中心に事業業者による請負。  
2. 町内会と連携し自助、互助、公助で高齢者を支え合う体制を作っていく。

△森田議員  
町道同士の交差点が何箇所もあります。不便に感じている町民がいるので、1箇所でも多く除雪する体制をとってほしいが。また高齢者の玄関前除雪制度についても進めてほしい。

△長屋町長  
福祉施設の方は5時半から早朝勤務と聞いている。大体除雪が終わるのが6時ぐらいなので、場合によっては2、30分の差が出る。一番良いのはショベルが着いていくことだが、そのための人員確保は厳しい状況です。きめ細かく除雪をするよう、ショベル等の増車も検討したい。

# 一般質問

**問** 少子化対策でできることは  
**答** きめ細かく考えていきたい

△森田議員▽

現在、町内で独身男女が出会える場やきっかけを作れる場が見当たらない。地域行事の中で、男女が出会えるような企画があればよいと考えるが。

また今年3月に実施した社会教育事業の中のポットラックのような事業が、年に何回かあればよいと考えるが。現在、町では赤ちゃんの成長と共に絵本の支給・15歳までの医療

の無料化・保育料の軽減・お残り児童に対する支援等を行っているが、足りないように思う。

人口減少の歯止めには、働く場所の確保や医療の充実、地域コミュニティによる精神的サポートなどニーズを的確に捉えた対応が求められる。

町として結婚・第一子誕生と生活設計の中でもっと助成すべきだと思うが。

結婚祝い金、誕生祝い金を支給する。子供の成長過程の中で、おむつ及び捨てる為のゴミ袋・ミルク・小学校入学時にランドセルの支給、中学校入学時には指定ジャージ等の支給等をしても良いのではないか。

町として一つの家庭に関わりを持って少子化対策を進めて欲しい。町長の考えを聞きたい。

△長屋町長▽

男女の出会いの場が必要と思うが、行政が直接関与するより今ある行事の中で機会を作った方が良いと感じます。またポットラックについては教育委員会とも協議したい。

施政方針でも述べたが、お子さんに対しておむつの支援、小中学校入学時に文具等の支援について考えています。

また持家の促進対策として、今回「ずっと住まいる」たきのうえ支援事業という住宅建設の補助制度を設けた。これは若者に対しての住宅建設補助加算制度です。

かつては滝上町にもお祝い金制度があった。今回はおむつ支給を考えている。これが2年で約24万円です。

またランドセルを買うのは祖父母の楽しみでもあるようなので、支給については検討を

要すると思う。おむつ用ゴミ袋は金額的にたいしたことないので、おむつとセツトで支給するよう考えたい。

個人の考えるところで。町としては今後とも引き続き子育て環境に配慮した政策を展開して町民の皆様が安心して子育てが出来るような環境整備に努めていきたい。



ポットラック事業